

自 平成二十八年三月十二日
至 平成二十八年六月十二日

春を惜しむ

展示目録

寄付

掛物

松平不昧筆 朽木竜橋宛 広澤茶入の文

脇

遠州蔵帳

貝盡蒔絵小硯箱

香合

遠州蔵帳

摹 唐物青貝 天下泰平

汲出碗

宣徳白磁 時代栗毆盆ニノセテ

蓑盆

縞柿行李蓋

火入

古染付 御所車図 能家所持

濃茶

小間

掛物

重要文化財 遠州葎帳

石溪心月墨蹟 無象靜照宛

僧問趙州一物不將來時如何州云放下着

花入

胡銅象耳

紀州徳川家伝来

釜

真形 琵琶桐地文 堀山城淨甫作

風炉

織部切形 尻張 天下一宗四郎作

水指

天龍寺青磁 花地文

棚

桐木地 碌々斎直判全箱 利斎作

茶 入

中興名物

金華山窯 広澤手本筒

仕覆 丹地筋金入 紺地唐草文金襴

萌黄地撫子文金襴 劍先緞子

酒井家伝来

茶 碗

光悦作 黒楽 銘東

勿謂軒伝来

出 袱 紗

浅葱地金更紗

茶 杓

遠州蔵帳

小堀遠州作 共筒 権左衛門

続き薄茶

後炭香合

片輪車蒔絵錫縁

胡民作

不昧箱

茶碗

安南蜻蛉文

赤星家伝来

替

珠光青磁 道八作

茶器

南京赤絵

四方

鶴丸文

鴻池家伝来

建水

砂張 鉄鉢形

大原家伝来

蓋置

唐物 七宝 三人形

干菓子器

唐物 朱青貝文字入四方盆

秋元家伝来

番 外

重要文化財

紙本墨書入阿毘達磨論 下卷

「中臣之寺」朱印アリ

中興名物

遠州所持

藤原定家筆 桜ちるの文

油滴天目茶碗・芙蓉台ニノセテ

藤田・井上
益田家伝来

富岡鉄斎絵

大田垣蓮月筆 絵賛

浅葱地福寿紋丸帯

他

薩摩切子平鉢

獅子丸金襴手向付

吹墨兔文古染付向付

保全作 染付半開扇向付

悠全作 獅子丸金襴手向付

今回の展示について

徳川幕府の茶道師範・小堀遠州は、「綺麗さび」を完成させたといわれています。

その彼の生涯でも、寛永十三年五月二十一日 五十八歳のとき、三代將軍家光のお成りをえた品川林中の新席披きは、忘れえぬ思い出であったことでしょう。

今回の展示は、その折の第一の床に掛けられた定家筆の「桜ちるの文」と献茶につかわれた油滴天目茶碗、さらに、新席の床を飾った父祖伝来の石溪心月墨蹟を中心に、取り合わせはこの次にして、遠州に係わる品々を集めてみました。

そのつもりでご覧くださいませ。

北村美術館

京都市上京区河原町今出川南一筋目東入ル

TEL (075) 256-0637